

JICAの事業は終わったけど、VVK（※）は終わらない  
～引き続き迷走・暴走・爆走中のオバチャンたち～

(2007年9月25日発行)

<予算の巻>

ホントは年間予算は、4月に出来ていなければいけないのに……。

年間の事業計画を立てるのも一苦勞のオバチャンたちは、4月に一応、新年度の活動計画は立てたのだが、計画を予算化する、というところまではたどりつけなかった。そこで、ソムニードとVVKの間で、4～6月の暫定予算を組んで、7月から翌年3月末までの予算は、4～6月の事業実施状況を合わせて、再検討する、ということになっていた。

そして、3ヶ月はあつという間に過ぎ、オバチャンたちが4月にやると言った以下のことは達成されたのだが……。

- ・ VVK加盟SHGへの月別モニタリング
- ・ 金銭出納帳の付け方指導員の養成（7名の指導者養成）
- ・ 会員総会（4月）
- ・ 銀行業の継続
- ・ 捨てられている自然素材を使ったクラフト素材ビジネス（農村部SHGとの連携）※2

これを受けて、新たに7月から来年3月末までの事業計画と予算を決めることになった7月。いつもの通り、事業実施計画も予算も決められず、1ヶ月半を経て、ようやく8月中旬に、次の事業計画（2007年7月～2008年3月）が発表された。

- ・ VVK加盟SHGへの月別モニタリング
- ・ 金銭出納帳の付け方指導員によるVVK加盟SHGへの研修
- ・ VVK加盟SHG数の増加
- ・ 会員総会（10月）
- ・ 銀行業の継続
- ・ 捨てられている自然素材を使ったクラフト素材ビジネス（農村部SHGとの連携）
- ・ サリー小売業
- ・ ピクルス製造と小売業

このうち、ソムニードが予算の支援をするのは、SHG月別モニタリング、SHGへの研修、そしてスタッフの給与などの事務局管理費のみ。すべてのビジネスはVVKの自己資金。

だいたいビジネスにソムニードから補助金を出してもらって、自分で損失も経験しないで、儲けだけ出そうなんて甘い話。

ソムニードが予算を負担とするといった SHG 月別モニタリング、SHG への研修、そしてスタッフの給与などの事務局管理費だって、オバチャンたちがやってなかったら、即座に支払いは中止。

さて、これから 3 月末まで半年間、オバチャンたちが自分で決めた、自分たちの活動の行方は！？

#### <クラフト素材ビジネス>

VVK の女性たちと農村部の山岳少数民族のたちが、ソムニードが日本で開催するクラフト講座（※）へ材料を供給するビジネス。

材料は、農村部やビシャカパトナムで収集され、素材ごとに袋詰めされて、日本に輸出される。活動の拠点はビシャカパトナムの VVK 事務所と農村部に建設された（JICA 草の根技術協力事業 2007 年 6 月）生産・物流センター。

8 月末までにソムニードが VVK に発注していた素材は、6 種類。

どれも農村部では捨てられている素材ばかり。

例えば、ココナツの殻、ヘチマ（に似た植物の実）など。素材の中には特定の季節しか採れないものもあるので、VVK のオバチャンたちは、5 月に農村部を訪れた際に、すでに集めて欲しい素材のリストを村のオバチャンたちに伝えていた。が、しかし。。。。

ソムニードが買い取る量も少なく、買取価格も安い、そして農村部のオバチャンたちの取り分（売値）も決めていなくて、農村部のオバチャンたちに素材を集めるやる気なし。

それでも何とか生産・物流センターに集まった素材をビシャカに持ってきて、素材を洗ったり、袋詰めの作業をした VVK オバチャンたちであるが。

「ナニこれ！農村部のオバチャンたち、全然素材の集め方が分かってないわ！保存の状態が悪いから、ヘチマの中身が腐っているわ！」

「ちゃんと乾かして、保存するように行ったのに。」

「あとココナツの殻だって、全然きれいに洗ってないから、ほらカビが出来てるわ！」

「まあまあ、とにかくソムニードから注文のあった量を袋詰めして、納品しましょう！納品期限は明日よ！！」

相変わらず土壇場になって、作業をするオバチャンたち。納品期限を 2 日後に控えて、ようやく農村部から集められて素材の加工を始める。

で、迎えた 8 月末のソムニードへの納品の日。

ドキドキしながら「全部買い取ってくれるかしら？」、袋詰めした素材をソムニードのスタッフに納める VVK オバチャンたち。

ソムニード・スタッフ：

「あ、こんなのダメ。6月に渡した製品チェックリストの項目を全然満たしていないじゃない。」

「そうねえ、買い取りができるのは、チェックリストの基準を満たした半分だけねー。」

VVKオバチャン：

「えーっそんな。アタシら悪くないわ。農村部から来た素材が、チェックリストの基準を満たしてなかったのよー。」

「ちゃんと悪いところ直すから、袋詰めした商品は全部買ってよ」

「せっかく素材を洗って、量って、袋詰めしたのに～。半分以上も買ってくれない物が残るなんて。赤字じゃない?!」

ソムニード・スタッフ：

「商売に、赤字はつきものでしょう?とにかく、チェックリストの基準を満たさないものを買っても、日本で使えないのよ。そんなの買い取らないわ。」

「素材の品質管理なんて、農村部のオバチャンたちと一度話ただけでしょう?そんなの誰も覚えていないよ。」

「そうそう、だいたい素材を集めても、VVKが農村部のオバチャンたちからいくらかで買い取るかきちんと値段の交渉もしてないのに、集めてくれただけありがたいと思わないと。」

VVKオバチャン：

「もう一回、農村部のオバチャンたちと話し合わないとダメよ」

「でもさ、クラフト素材ビジネスの予算は、ビジネスだからって、ソムニードは負担してくれないのよ。」

「じゃあ農村部に行くのやめよーか?」

「ダメよ、ちゃんと農村部のオバチャンたちとクラフト素材のビジネスのルールをきちんと話さないと!」

「そうよ、そうよ。でもソムニードは買取金額の前払いはしてくれるって言ってるんだから、前払いしてもらいましょうよ。」

「ソムニードに売った金額から交通費とか返せばいいんだし。」

「じゃあ、来週は農村部のオバチャンたちとミーティングよ!絶対、このビジネスを成功させるのよ!アタシ、農村部のオバチャンたちに連絡とるわ!」

というすったもんだの8月、9月。

VVKのオバチャンたちは10月初旬には、農村部の生産・物流センターで、再度クラフト素材ビジネス会議を農村部のオバチャンたちと持つことになり、ただ今日程の調整中。

<その他諸々>

★ 着々と貸付高を上げる VVK 銀行★

VVK が団体登録した 2006 年 12 月以来、銀行業は着々と軌道に乗りつつある。メンバーの VVK への貯蓄や会費だけを資本金として（ソムニードからの資金供与はゼロ）、1 月に 76,000 ルピー（約 22 万円）でスタートした銀行業。

9 月までの貸付高は 300,000 ルピー（約 90 万円）となった。

VVK の会員が 9 月末現在で約 580 人、そのうちの約 30% にあたる 169 人がこれまでに VVK 銀行でお金を借りることができた。

「少ない金額でもたくさんの人にローンを」というモットーの VVK 銀行。まずまず軌道に乗っている様子。毎月の返済率もまだ 90% 以上という。

10 月末までには、VVK オリジナル預金通帳を印刷して、VVK メンバー全員に配るのだ！と銀行業務担当のオバチャンたちは、印刷会社数社に問い合わせ、通帳印刷の見積もりをとっているところ。VVK 銀行への信用はまずまずで、毎週火曜日のローン申請日には、10 人くらいのお客さんが申請書を片手に VVK 事務所にザワザワと集まっている。

★ もう一度ド〜ンとやっていますサリービジネス★

銀行から資金を借りて、結成された VVK サリー小売業実行委員会は、8 月からサリーの小売を始めた。

2005 年に大損を出したサリー小売業がから立ち上がった（PCUR-LINK 便りバックナンバー参照）オバチャンたちは、今度は仕入れ価格や仕入れ店を秘密にする（これ商売の基本なんですけど、前回のサリー小売業ではこれをしゃべってしまって多くの在庫を出した）、分割払いのための伝票をつくる、金銭出納帳、在庫管理表をつける、などなどこれまでソムニードから習った基礎技術を駆使して、独自にさまざまな帳簿をつくり、サリー小売業にあたっている。

サリー小売業は、9 月、10 月に連続するお祭りのためのサリーを新調する VVK メンバーをメインのお客さんに絞ったビジネス。そろそろサリー小売業開始から 1 ヶ月を終え、中間収支報告が楽しみ。

注

※1 VVK : 2005 年に発足したビジャカパトナム市内スラムの女性による SHG（10~20 人の女性による貯蓄と小規模融資を行うグループ）が集まって作られた連合体組織。

※2 捨てられている自然素材を使ったクラフト素材ビジネス（農村部 SHG との連携）。VVK の女性たちと農村部の女性たちが、ソムニードが日本で開催するクラフト講座（インドの自然素材を使ったアクセサリーづくり、小物づくりを通じて、インドを身近に感じてもらい、ソムニードの活動を紹介する）へ材料を供給するビジネス。材料は、農村部やビ

△▼その後の VVK オバチャン便り▼△

シャカパトナムで収集され、素材ごとに袋詰めされて、日本に輸出される。活動の拠点  
はビシャカパトナムの VVK 事務所と農村部に建設された（JICA 草の根技術協力事業  
2007 年 6 月）生産・物流センター。

\*\*\*\*\*